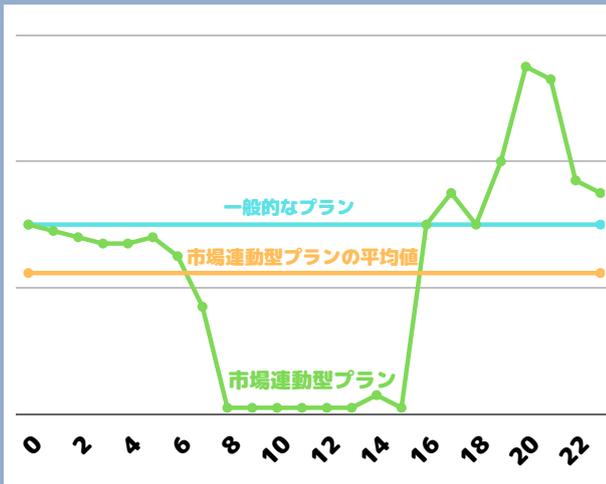


市場連動型プラン

お客様へのメリット、デメリットについて

一般的な電気料金プランと市場連動型プランの価格イメージ



市場連動型プランは、基本料金と電力会社などが電力の売買を行う「日本卸電力取引所（JEPX）」のスポット価格に連動した従量単価で電気料金が決まる料金プランです。

JEPXの電力価格は太陽光発電の活発な日中の時間帯に安くなり、発電量の少ない日照条件下や夕方以降の時間帯に高く取引されています。

「市場連動型プラン」は30分ごとの取引価格に連動する価格設定のため、電気を使用する時間帯によって従量単価が変動し、多くの企業では従来型の固定料金プランより電気代が安くなると試算されています。また、「市場連動型プラン」には下限設定がなく、市場価格が底値の時間帯もそのまま売電価格に反映される仕組みとなっています。

参考：<http://www.jepx.org/market/index.html>

【市場連動型プランのメリット】



① 単価が安い

市場の変動具合と電力会社の手数料にもよりますが、市場連動型プランの従量単価は年間を通せば一般的な料金プランよりも安くなりやすくなっています。



② 節約効果大きい

従量電灯プランではいつ節電をしても単価は変わらず効果は限定的ですが、市場連動型の場合単価が高い時間に節電することで大きな節約効果を生むことができます。



③ 環境意識の向上

普段は気に掛けることのない日本国内の電力需要。脱炭素社会に向け日々の電力需要を意識することが環境意識の向上につながると私たちは考えています。

【市場連動型プランのデメリット】

市場連動型プランのデメリットは、市場の影響を直接受けることによる変動リスクです。年間を通せば安定はしているものの、夏場など一時的にスポットプライスが高騰した場合、電気代がその時期だけでみると割高になる可能性があります。市場連動型プランは、変動リスクを理解したうえで年間を通したメリットを見ていただく必要があります。